令和５年度

さくらがわ地域医療センター

事業実績報告書

令和５年４月１日～令和６年３月３１日

令和６年６月

医療法人隆仁会

目 次

１　総括 1
２　診療実績 2
３　人員体制 5
４　救急診療体制 7
５　地域医療機関との連携・支援、地域医療の質向上のための取組 7
６　健康診断・人間ドック等の実施 10
７　各種委員会の開催 10
８　施設管理 11
９　その他 12
１０　収支実績 15

１　総括

令和５年度は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症への感染対策を行いつつ、指定管理者制度の機動性を活用し、円滑な診療体制の構築に取り組みました。

人員については、医師を除き、年度を通して概ね安定した人員配置を行うことが出来ました。医師については、幅広い招聘活動を行ったものの、常勤医師の採用には至りませんでした。また、年度内で小児科医師の退職もあり、午後の小児科診療を休診とする一時的な期間もありましたが、大学医局より複数名の医師派遣により診療に支障のない人員確保が出来ました。

診療面については、一般患者の診療を行いながら、新型コロナウイルス感染症患者及び感染疑い患者については屋外の発熱外来棟を活用し、診察場所を分けた診療を継続しました。また、新型コロナ確保病床が年度内に廃止となったため、一般患者の受け入れできる体制へシフトし、稼働率向上に努めました。

経営面については、新型コロナウイルス感染症に関連した補助金が減額・廃止となり、昨年度と比べると大幅な減収となりました。中期計画で定めた経常利益等の目標値は上回る結果となりました。

２　診療実績

（１）外来診療実績

外来診療については、一般診療の他、屋外の発熱外来棟を活用した発熱外来での診療に取り組みました。患者数については、昨年度と比べ 7.2 人減少となりました。

ア　外来患者数

診療科	令和5年度		（参考）令和4年度	
	延患者数	平均患者数／日	延患者数	平均患者数／日
内科	21,226	72.2	22,735	77.3
外科	8,063	27.4	8,244	28.0
整形外科	16,325	55.5	15,882	54.0
小児科	4,637	15.8	6,026	20.5
眼科	7,566	25.7	7,425	25.3
耳鼻咽喉科	2,484	8.4	2,154	7.3
泌尿器科	2,662	9.1	2,574	8.8
皮膚科	2,972	10.1	3,009	10.2
婦人科	1,586	5.4	1,588	5.4
計	67,521	229.6	69,637	236.8

イ　（再掲）発熱外来患者数（新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者数）

日付	患者数			PCR検査数	
	成人	小児	計	件数	うち陽性
2023年4月	146	292	438	313	14
2023年5月	220	286	506	261	48
2023年6月	194	333	527	233	51
2023年7月	320	374	694	300	121
2023年8月	500	325	825	414	220
2023年9月	408	266	674	338	160
2023年10月	270	383	653	233	33
2023年11月	315	297	612	248	24
2023年12月	435	369	804	253	45
2024年1月	518	277	795	388	136
2024年2月	411	269	680	327	124
2024年3月	261	266	527	213	55
合計	3,998	3,737	7,735	3,521	1,031

ウ　外来診療体制

（ア）期首　【 R5.4.1 】

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
外科	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
整形外科	○	※	○		○	○	○	○	○	○	○	
小児科	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
耳鼻咽喉科				○							○	
泌尿器科			○		○						○	
皮膚科	○				○						○	
婦人科									○	○		

（イ）期末　【 R6.3.31 】

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
整形外科	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小児科	○	○	○		○	○	○		○	○	○	
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
耳鼻咽喉科				○							○	
泌尿器科			○		○						○	
皮膚科	○				○						○	
婦人科									○	○		

※第４週のみ（専門外来）

（２）入院診療実績

新型コロナウイルス感染症入院確保病床の廃止に伴い、一般患者の受け入れや新型コロナウイルス感染症等の院内クラスターが発生しなかったため、入院患者数については前年度と比べ増加となりました。

ア　診療科別入院患者数

診療科	令和5年度		（参考）令和4年度	
	延患者数	平均患者数／日	延患者数	平均患者数／日
内科	18,702	51.1	18,469	50.6
外科	8,847	24.2	4,381	12.0
整形外科	5,084	13.9	7,787	21.3
眼科	402	1.1	385	1.0
計	33,035	90.2	31,022	84.9

イ　病床別入院患者数及び病床利用率

項目		延患者数（人）	平均患者数（人／日）	令和5年度 病床利用率	（参考）令和4年度 病床利用率
一般病床（80床）		16,231	44.3	55.6%	49.8%
	一般（70床）	13,898	37.9	54.4%	47.6%
	包括ケア（10床）	2,333	6.4	63.9%	65.2%
療養病床（48床）		16,804	45.9	95.9%	94.1%
計		33,035	90.2	70.5%	66.3%

（３）手術実績

外科、整形外科、眼科を中心とした手術を実施しました。外来及び入院ともに、昨年度より増加となりました。

診療科	令和5年度		（参考）令和4年度	
	外来	入院	外来	入院
内科	18	6	8	2
外科	90	351	90	378
整形外科	244	271	181	214
耳鼻咽喉科	49	0	63	0
眼科	86	391	68	383
小児科	1	0	0	0
皮膚科	14	0	4	0
泌尿器科	2	1	0	0
婦人科	9	0	12	0
計	513	1020	426	977

３　人員体制

配置計画に基づいた人員の確保に努めました。欠員の生じている常勤整形外科医については年度内での採用には至りませんでした。小児科常勤も年度内にて１名退職となりましたが、非常勤医を採用し、診療体制を構築しました。

（１）　医師数　※実人数　　＊期末　【R6.3.31】

診療科	令和5年度		（参考）令和4年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科	4	10	4	9
外科	2	5	2	3
整形外科	1	9	1	7
小児科	1	5	2	1
眼科	0	6	0	6
耳鼻咽喉科	0	2	0	2
泌尿器科	0	3	0	3
皮膚科	0	4	0	2
婦人科	0	1	0	1
麻酔科	1	1	0	2
健診・その他	1	0	1	0
計	10	46	10	36

（２）　看護職員数　　＊期末　【R6.3.31】

診療科	令和5年度		（参考）令和4年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
看護師	61	5	54	4
准看護師	9	4	14	5
計	70	9	68	9

（３）　人員数推移

職種	期首（2023年4月1日）					期末（2024年3月31日）				
	常勤	非常勤		合計		常勤	非常勤		合計	
		実人数	常勤換算	実人数	常勤換算		実人数	常勤換算	実人数	常勤換算
医師	11	36	5.4	47	16.4	10	46	6.5	56	16.5
看護師	60	5	3.1	65	63.1	61	5	3.7	66	64.7
准看護師	12	4	2.5	16	14.5	9	4	2.5	13	11.5
看護助手（MA）	1	3	1.9	4	2.9	1	4	2.2	5	3.2
介護福祉士	4	4	2.7	8	6.7	5	2	1.3	7	6.3
介護士	3	3	2.7	6	5.7	6	1	0.7	7	6.7
管理栄養士	3	0	0.0	3	3.0	3	0	0.0	3	3.0
放射線技師	8	0	0.0	8	8.0	8	0	0.0	8	8.0
社会福祉士	2	0	0.0	2	2.0	2	0	0.0	2	2.0
理学療法士	5	0	0.0	5	5.0	5	0	0.0	5	5.0
臨床検査技師	5	0	0.0	5	5.0	5	0	0.0	5	5.0
視能訓練士	3	0	0.0	3	3.0	3	0	0.0	3	3.0
薬剤師	4	0	0.0	4	4.0	4	0	0.0	4	4.0
調剤事務	1	0	0.0	1	1.0	1	0	0.0	1	1.0
事務（管理部門）	4	0	0.0	4	4.0	4	0	0.0	4	4.0
事務（医事/医師事務部門）	18	11	6.0	29	24.0	15	14	7.3	29	22.3
事務（健診部門）	1	3	2.4	4	3.4	1	3	2.2	4	3.2
調理師	1	1	1.0	2	2.0	2	0	0.0	2	2.0
調理補助	1	7	4.3	8	5.3	1	6	3.6	7	4.6
環境整備	0	5	4.3	5	4.3	0	4	4.0	4	4.0
用務（送迎係）	0	3	2.8	3	2.8	0	3	2.6	3	2.6
用務（施設管理）	0	1	1.0	1	1.0	0	1	1.0	1	1.0
合計	147	86	40.1	233.0	187.1	146	93	37.6	239	183.6

4　救急診療体制

救急搬送患者については、昨年同様、軽症、中等症患者を中心とした受入を行いました。昨年度と比べ、搬送件数については 19 件、ウォークインの救急来院患者については 236 人減少となりました。

区分＼月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日当り
救急搬送		20	28	23	35	32	21	13	21	23	16	26	11	269	0.7
	軽症	9	9	11	15	13	13	4	7	10	9	12	7	119	0.3
	中等症	11	17	12	18	18	8	9	13	13	7	12	4	142	0.4
	重症	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	6	0.0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
来院		28	77	38	70	91	66	68	81	99	134	88	60	900	2.5
	軽症	25	74	32	66	81	63	65	70	98	129	87	55	845	2.3
	中等症	2	3	6	3	9	3	3	9	1	5	1	3	48	0.1
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	死亡	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	5	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0.0
計		48	105	61	105	123	87	81	102	122	150	114	71	1,169	3.2
1日当り		1.6	3.4	2.0	3.4	4.0	2.9	2.6	3.4	3.9	4.8	3.9	2.3	3.2	

5　地域医療機関との連携・支援、地域医療の質向上のための取組

（1）　地域医療機関との連携

市内外の医療機関・介護施設からの紹介受診・入院の調整を行いました。クリニック・介護施設等からは精査治療・入院加療の相談が多く、病院からは外来受診、転院受入の相談を受けました。

今年度は、コロナ感染が少し落ち着いたタイミングだったこともあり、「筑波大学附属病院地域医療連携懇談会」や「獨協医科大学病院 ゆうがお地域医療連携フォーラム 2023」に参加し関係機関との交流・意見交換を行いました。

また、昨年度に引き続き、市内外の医療機関・介護施設を直接訪問し、対面にて各担当者と顔の見える関係作り、スムーズな連携のための情報共有に取り組みました。

ア　紹介された主な医療機関と人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県西部メディカルセンター	51	筑波大学附属病院	17
阿部田医院	41	けんせいクリニック	14
田崎内科医院	40	自治医科大学附属病院	12
協和中央病院	39	吉原医院	11
茨城県立中央病院	31	その他病院・開業医・クリニック等	703
		合計	959

イ　アのうち転入院した人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県西部メディカルセンター	26	美穂中央病院	3
茨城県立中央病院	14	阿部田医院	3
田崎内科医院	6	筑波大学附属病院	2
協和中央病院	4	筑波メディカルセンター病院	2
吉原医院	4	その他病院・開業医・クリニック等	34
		合計	98

ウ　紹介した主な医療機関と人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県立中央病院	145	自治医科大学附属病院	56
茨城県西部メディカルセンター	113	大和クリニック	22
筑波大学附属病院	67	田崎内科医院	18
筑波メディカルセンター病院	64	阿部田医院	17
協和中央病院	63	その他病院・開業医・クリニック等	453
		合計	1018

（２）　茨城県西部メディカルセンターとの医療連携

今年度は、2 病院の病病連携を図る為、病院長等の管理職で構成した「２病院医療連携管理者会議」を開催しました。また、医療連携部門の実務者で構成した「２病院医療連携会議」を毎月リモートにて開催しました。医療連携会議では、感染病棟・HCU 病棟・一般病棟・地域包括ケア病床・療養病棟の稼働状況を共有し、転院相談が円滑に進められるよう努めました。

紹介患者数	51 件
逆紹介患者数	113 件

（３）　地域医療の質向上のための取組

茨城県内の医療機関を対象に医師会を通じた研修会を実施しました。医療機器の共同利用については近隣の診療所からの紹介を中心に数多くの検査依頼に対応致しました。

ア　主な研修会・講演会等

〇真壁医師会学術講演会（WEB 講演会）

最近の COPD 診断と治療

共　　催：真壁医師会・アストラゼネカ

講　　演：塩原太一（さくらがわ地域医療センター 内科医長）

○真壁医師会桜川支部定例会
計６回開催

イ　共同利用件数実績

	令和５年度	（参考）令和４年度
ＭＲＩ	844	845
ＣＴ	199	239

（４）　職場体験（インターンシップ）、病院見学、実習受入

次代を担う人材の育成ため、中学生・高校生のインターンシップ、一日看護体験を実施しました。

ア　インターンシップ

岩瀬西中学校　７名　　岩瀬東中学校　１名

イ　一日看護体験

下館第二高等学校　７名　　岩瀬日本大学高等学校　３名
鬼怒商業高等学校　２名　　下館第一高等学校　１名
石岡第一高等学校　１名　　土浦日本大学高等学校　１名

（５）　訪問看護事業の実施

市内高齢者を中心としたサービス提供を行いました。利用者数は昨年度（5190 人）と比べやや減少となりました。

	令和５年度		（参考）令和４年度	
	延利用者数	※１日平均	延利用者数	※１日平均
訪問看護利用者	5,076	13.9	5,190	14.2

※　延利用者数／365 日

（６）　その他活動

茨城県看護協会で主催している「まちの保健室」の担当看護師として地域のショッピングセンター等へ出向し健康に関する無料相談を実施しました。

１０月１８日　下妻イオンにて開催　１名参加
１１月１５日　下妻イオンにて開催　１名参加

６　健康診断・人間ドック等の実施

事業所による法定健康診断、全国健康保険協会（協会けんぽ）の生活習慣病予防健診・特定健康診査を中心とした健診業務を実施しました。桜川市が実施する検診（人間ドック、特定検診、骨粗鬆症健診）にも引き続き対応いたしました。

項目	令和5年度	（参考）令和4年度
	人数	人数
定期健診	826	746
協会けんぽ健診	1,703	1,516
特定健診	124	105
人間ドック	272	275
骨粗鬆症	439	353
特殊健診（塵肺、特定化学等）	42	33
その他	711	680
職員健診	200	211
計	4,317	3,919

７　各種委員会の開催

（１）　医療安全委員会と医療安全体制について

医療安全委員会、リスクマネジメント委員会を毎月１回開催し、その他医療安全に関わる医療安全推進委員会を週１回開催しました。インシデント・アクシデントレポートをもとに事例を分析し、改善策の検討及び検証を行いました。

ア　委員会の開催

医療安全管理委員会開催回数	13 回
リスクマネジメント委員会開催回数	12 回
医療安全推進委員会開催回数	48 回

イ　アクシデント・インシデント報告件数

アクシデント報告件数	8 件（前年度　11 件）
インシデント報告件数	328 件（前年度 297 件）

（２）　院内感染対策委員会

新型コロナウイルス感染症への対応を中心とした定期的な委員会を開催し、クラスター発生時は臨時の対策会議を開催しました。院内感染対策委員会の下部組織である院内感染リンクスタッフ委員会においては、感染制御チーム（ＩＣＴ）のラウンドの内容をもとに院内の感染対策の徹底を図りました。

ア　委員会の開催

院内感染対策委員会開催回数	15 回

※臨時開催を含む。

イ　感染制御チーム（ＩＣＴ）による院内ラウンド

院内ラウンド実施回数	48 回

ウ　新型コロナウイルス感染症にかかる会議・研修会等への参加

○第１回筑西保健所管内新型コロナウイルス感染症対策連絡会議（オンライン会議）

開 催 日：令和５年８月１０日（木）

主　　催：茨城県筑西保健所

８　施設管理

（１）　施設等の保守・点検（医療機器含む）

公立病院の指定管理者として、施設等の保守・点検（医療機器含む）に関する法令やその他の基準等に沿った方法によって保守・点検を行いました。

ア　建物及び建物付属設備の主な保守点検項目

高圧電気及び自家発電設備、消防設備及び防火対象物設備、医療ガス供給設備
浄化槽設備、昇降設備、自動ドア設備 等

イ　医療機器等

Ｘ線撮影機器（ＣＴ、一般撮影装置等）、磁気共鳴撮影機器（ＭＲＩ）、臨床検査機器
内視鏡機器（胃・大腸・膀胱）、超音波診断装置 等

（２）　施設等の修繕・改良等

ア　病院施設

１）１階正面入口及び風除室自動ドア（３台）の摩耗部品（タイミングベルト・吊車等）の交換作業及び修繕工事を行いました。

２）エレベータ(4基:患者用2台、職員用2台)のバックアップバッテリーの交換工事を行いました。

３）予備酸素連結管パッキン(ナイロン製より銅製へ)の交換工事を行いました。

イ　医療機器、システム等

１）２階東病棟及び３階病棟洗浄エリアに設置したベッドパンウォッシャー（高圧洗浄機）の電磁弁劣化による給湯量減少のため、修理による修繕を行いました。

２）栄養管理システムを更新しました。業務拡張に伴い、クライアント端末を増設しました。

３）検体検査ステムを更新及びハードウェアの入れ替えを行いました。既存システム同様に、各種検査機器とのシステム接続を行いました。

４）内視鏡画像データを DICOM フォーマットへ変換し、内視鏡システムサーバーへ自動転送可能な画像転送装置を整備しました。

５）3階東病棟のナースコールディスプレイモニター交渉の為、モニター交換工事を行いました。

６）ナースコール中継ユニットが動作不良のため、基板交換作業を行いました。

７）眼科検査機器（視野計）の検査不良のため、修理による修繕を行いました。

９　その他

（１）　市民への情報公開や病院運営に関する市民参加の推進について

新型コロナウイルス感染症への対応や診療に関する情報については院内での掲示やホームページ等での情報提供を行いました。

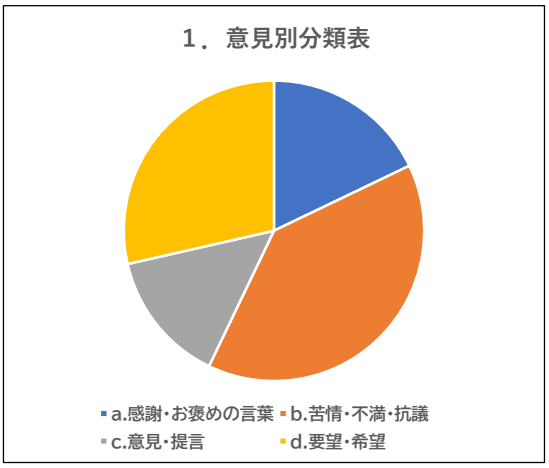
ア　情報発信方法

ホームページ、院内掲示、会議等への参加

イ　ご意見箱の内容・件数

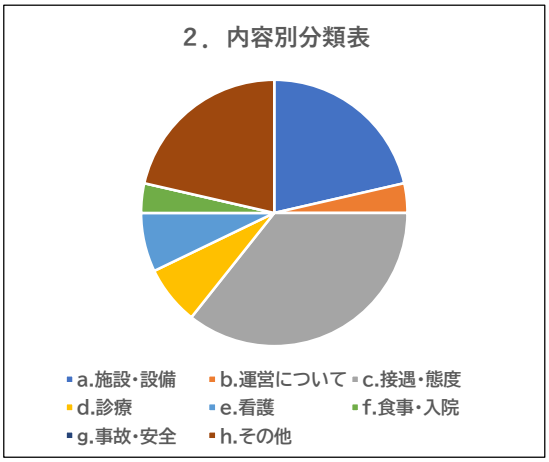
１）ご意見の分類

内容	件数
a. 感謝・お褒めの言葉	5
b. 苦情・不満・抗議	11
c. 意見・提言	4
d. 要望・希望	8
計	28



２）ご意見の内容

内容	件数
a. 施設・設備	6
b. 運営について	1
c. 接遇・態度	10
d. 診療	2
e. 看護	2
f. 食事・入院	1
g. 事故・安全	0
h. その他	6
計	28



（２）　患者及び来院者へのサービス提供

送迎車４台によるドア to ドアの送迎サービスを実施しました。昨年度と比べ利用者数はやや減少となりました。

ア　無料送迎利用者数

項目	令和5年度	（参考）令和4年度
送迎利用者数	8,188	8,508
＊１日当りの利用者数	28.0	29.1

※迎え、送り、それぞれ１件とした合算件数

（３）窓口職員等の接遇について

外部委託会社による接遇（窓口対応・電話対応）関する覆面調査及び職員への接遇意識調査を行いました。調査後は報告書をもとに課題点を共有し、接遇向上に向けた取り組みを実施しました。

＊覆面調査：匿名による電話での調査、調査員の来院による５項目（身だしなみ・挨拶・表情・姿勢・言葉遣い）の調査
＊接遇意識調査：職員が日頃、どのような接遇を意識しながら患者対応や業務を行っているかを調査し、弊害となる考えを抽出し接遇研修の資料に反映することを目的に実施

ア　接遇の覆面調査結果

今回の調査結果は、５段階評価にて「４．１４」で前回行った調査結果より０．５８ポイント評価が上がった結果となりました。要因としては、「挨拶」「表情」「姿勢」「言葉遣い」の項目が昨年度の評価を上回っており、特に「言葉遣い」については、１．１ポイント向上と大きく評価を残した結果となりました。「身だしなみ」の項目については昨年度と横ばいの結果となりました。

イ　接遇意識調査結果・研修会の実施

接遇に対し「課題がある」と回答した職員が約７割と、問題意識を持っている職員が昨年度より約１割増加した結果となりました。また、自身の振り返りで接遇が「出来ていない」ことを課題と捉える職員と、出来ない理由は業務過多や人員不足の問題と捉える職員もおり、その不満が解消されない中で接遇の取り組みはいかがなものかと訴える意見もありました。人員不足の状況では、周囲への気配りが疎かになるケースがあっても、身についている所作や言葉遣いが突然できなくなることはないため、基本を振り返りながら研修会を通じて接遇についての意識改革を継続しました。

（４）災害時体制の見直しと招集訓練の実施

災害対策マニュアル、ＢＣＰ（事業継続計画）、災害発生時の対応についての見直しを行いました。また、震災を想定した招集訓練（安否確認を含む）を医療機関用災害対策システム（スマートフォンによる報告システム）にて実施しました。

（５）職員の健康管理について

昨年度に引き続き、院内クラスター発生の予防措置として、各個人の携帯電話（スマートフォン等）による報告可能な健康管理システムを活用し、出勤日の他、休日も含めた全職員の健康管理努めました。勤務中に発熱等の症状がある場合には、速やかに自宅待機とし、また、職員家族等に症状がある場合等は、必要に応じて出勤前に検査を実施し、職員の健康管理と院内感染の防止に努めました。

（６）保健所・厚生局等による検査状況

ア　立入検査について

令和５年１０月２６日に茨城県筑西保健所による立入検査が実施されました。行政文書による指摘事項はありませんでしたが、改善が望ましい事項として口頭にて指導・助言いただいた事項については改善に努めました。

イ　施設基準に係る適時調査について

関東信越厚生局による施設基準の係る適時調査は実施されませんでした。

（７）新型コロナワクチン接種について

予防接種法に基づき、新型コロナウイルス感染症のまん延を予防するため、新型コロナワクチンの接種を行いました。接種者数は昨年度（7,799 人）と比べ大幅に減少となりました。また、市内の高齢者施設入居者や在宅療養者に対しては、医師・看護師による訪問接種を継続して実施しました。

年齢	接種形態			接種回数計
	個別接種	集団接種	＊訪問接種	
5歳未満	39	0	0	39
5歳～11歳	229	0	0	229
12歳以上	3,266	0	238	3,504
合計	3,534	0	238	3,772

＊施設入居者及び在宅患者

（８）医師の宿日直許可について

医師の長時間労働を是正することを目的として２０２４年４月施行される医師の働き方改革に対応するため、時間外労働の上限規制が除外となる宿日直許可の取得に向けて取り組みました。茨城県医療勤務環境改善支援センターを活用し、令和５年７月２４日付にて宿日直勤務許可を取得しました。

１０　収支実績

科目	令和5年度		令和4年度		比較	
	金額（円）	対収益比	金額（円）	対収益比	金額（円）	比率
入院収益課税	10,044,286	0.5	8,998,668	0.4	1,045,618	111.6
入院収益非課税	3,316,412	0.1	2,254,628	0.1	1,061,784	147.1
室料差額収益	14,514,050	0.7	15,703,770	0.8	△ 1,189,720	92.4
窓口自費収入	6,818,947	0.3	7,763,758	0.4	△ 944,811	87.8
保健予防活動収益	142,759,216	7.4	143,823,751	7.5	△ 1,064,535	99.3
受検査施設収益	10,230,682	0.5	10,237,350	0.5	△ 6,668	99.9
社会保険収入	355,223,839	18.4	434,818,347	22.8	△ 79,594,508	81.7
国民保険収入	305,841,767	15.9	275,876,522	14.4	29,965,245	110.9
自賠責保険収入	7,531,215	0.3	6,698,594	0.3	832,621	112.4
労災保険収入	9,860,079	0.5	10,456,368	0.5	△ 596,289	94.3
後期高齢者医療	1,050,935,824	54.6	982,041,374	51.5	68,894,450	107.0
その他医業収入	5,094,619	0.2	4,993,005	0.2	101,614	102.0
医業収益　計	1,922,170,936	100.0	1,903,666,135	100.0	18,504,801	101.0
医師給	369,309,574	19.2	375,733,597	19.7	△ 6,424,023	98.3
常勤医師	190,962,216	9.9	204,429,558	10.7	△ 13,467,342	93.4
非常勤医師	178,347,358	9.2	171,304,039	8.9	7,043,319	104.1
看護師給	348,859,817	18.1	351,169,671	18.4	△ 2,309,854	99.3
技術員給	139,330,229	7.2	127,913,486	6.7	11,416,743	108.9
事務員給	105,197,444	5.4	105,382,899	5.5	△ 185,455	99.8
労務員給	32,991,510	1.7	34,796,652	1.8	△ 1,805,142	94.8
他給与	1,580,000		0		1,580,000	
退職金	2,620,854	0.1	897,973		1,722,881	291.9
法定福利費	122,488,561	6.3	109,647,314	5.7	12,841,247	111.7
給与費計	1,122,377,989	58.3	1,105,541,592	58.0	16,836,397	101.5
期首材料棚卸高	17,771,368	0.9	14,723,138	0.7	3,048,230	120.7
医薬品費	184,648,511	9.6	146,480,413	7.6	38,168,098	126.1
医療消耗器具備品費	261,154,846	13.5	308,005,683	16.1	△ 46,850,837	84.8
給食用材料費	23,846,414	1.2	20,483,386	1.0	3,363,028	116.4
期末材料棚卸高	26,191,091	1.3	17,771,368	0.9	8,419,723	147.4
材料費計	461,230,048	23.9	471,921,252	24.7	△ 10,691,204	97.7
検査委託費	63,506,085	3.3	42,837,820	2.2	20,668,265	148.2
寝具委託費	3,448,895	0.1	3,652,914	0.1	△ 204,019	94.4
医事委託費	5,355,681	0.2	10,003,712	0.5	△ 4,648,031	53.5
保守委託費	46,568,475	2.4	45,341,759	2.3	1,226,716	102.7
委託管理費	52,433,551	2.7	41,903,599	2.2	10,529,952	125.1
委託費計	171,312,687	8.9	143,739,804	7.5	27,572,883	119.2
減価償却費	13,452,366	0.6	15,625,318	0.8	△ 2,172,952	86.1
機器賃借料	20,366,500	1.0	16,185,576	0.8	4,180,924	125.8
地代家賃	1,734,000		1,966,378	0.1	△ 232,378	88.2
修繕費	11,384,569	0.5	9,259,976	0.4	2,124,593	122.9
車両関係費	2,024,253	0.1	1,759,437		264,816	115.1
燃料費	7,277,398	0.3	6,853,511	0.3	423,887	106.2
設備関係費	56,239,086	2.9	51,650,196	2.7	4,588,890	108.9
研修費	2,308,830	0.1	1,473,387		835,443	156.7
研究研修費	2,308,830	0.1	1,473,387		835,443	156.7
福利厚生費	2,686,833	0.1	3,163,536	0.1	△ 476,703	84.9
旅費交通費	29,939,358	1.5	30,653,478	1.6	△ 714,120	97.7
職員被服費	286,560		311,018		△ 24,458	92.1
通信費	6,850,761	0.3	6,648,091	0.3	202,670	103.0
広告宣伝費	1,221,429		342,400		879,029	356.7
消耗品費	21,546,135	1.1	18,395,402	0.9	3,150,733	117.1
消耗器具備品費	2,478,182	0.1	1,647,712		830,470	150.4
会議費	121,800		304,863		△ 183,063	40.0
水道光熱費	54,950,302	2.8	64,781,900	3.4	△ 9,831,598	84.8
保険料	9,135,764	0.4	9,065,569	0.4	70,195	100.8
交際費	248,710		78,873		169,837	315.3
諸会費	3,394,141	0.1	3,127,894	0.1	266,247	108.5
租税公課	1,032,720		1,017,950		14,770	101.5
寄付金	795,000		587,000		208,000	135.4
新聞図書費	681,560		853,996		△ 172,436	79.8
衛生管理費	26,569,103	1.3	24,307,793	1.2	2,261,310	109.3
雑費	123,660		58,130		65,530	212.7
消費税等	19,591,461	1.0	22,260,365	1.1	△ 2,668,904	88.0
経費	181,653,479	9.4	187,605,970	9.8	△ 5,952,491	96.8
医業費用　計	1,995,122,119	103.7	1,961,932,201	103.0	33,189,918	101.7
医業利益	△ 72,951,183		△ 58,266,066		△ 14,685,117	125.2
受取利息	59		55		4	107.3
指定管理料収入	117,448,000	6.1	121,048,000	6.3	△ 3,600,000	97.0
雑収入	14,457,764	0.7	37,067,237	1.9	△ 22,609,473	39.0
医業外収益　計	131,905,823	6.8	158,115,292	8.3	△ 26,209,469	83.4
支払利息	1,203,834		2,162,055	0.1	△ 958,221	55.7
雑損失	2,377,207	0.1	1,567		2,375,640	
指定管理者負担金	14,915,620	0.7	11,945,225	0.6	2,970,395	124.9
施設利用料	7,776,000	0.4	0	0.6	7,776,000	
医業外費用　計	26,272,661	1.3	14,108,847	0.7	12,163,814	186.2
医業外利益	105,633,162	5.4	144,006,445	7.5	△ 38,373,283	73.4
経常利益	32,681,979	1.7	85,740,379	4.5	△ 53,058,400	
補助金収益	35,699,200	1.8	151,808,000	7.9	△ 116,108,800	23.5
臨時収益	35,699,200	1.8	151,808,000	7.9	△ 116,108,800	23.5
固定資産除却損	26,500		1,495,643		△ 1,469,143	1.8
固定資産圧縮損	0		15,312,000	0.8	△ 15,312,000	
臨時費用	26,500		16,807,643	0.8	△ 16,781,143	0.2
臨時利益	35,672,700	1.8	135,000,357	7.0	△ 99,327,657	26.4
税引前当期純利益	68,354,679	3.5	220,740,736	11.5	△ 152,386,057	31.0